

令和4年

健康福祉委員会

11月29日

豊明市議会

# 健康福祉委員会会議録

令和4年11月29日

午前11時20分 開会

午前11時28分 閉会

## 1. 出席委員

委員長	近藤善人	副委員長	堀内ちほ
委員	近藤ひろひで	委員	近藤郁子
委員	月岡修一	委員	一色美智子
議長	三浦桂司		

## 2. 欠席委員

委員 中村めぐみ

## 3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井俊一	議事課長	塚谷友昭
議事担当係長	寺島慎二	議事課主事	松林淳

## 4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
健康福祉部長	中村泰正	子育て支援課長	松村清子

## 5. 傍聴議員

服部龍一	林ゆきひろ	ごとう学	郷右近修
清水義昭	宮本英彦	鵜飼貞雄	毛受明宏
近藤千鶴	ふじえ真理子		

## 6. 傍聴者

なし

午前11時20分開会

○健康福祉委員長（近藤善人議員） ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

なお、中村めぐみ委員より、本日、欠席の連絡がありましたので御報告いたします。  
会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 総務委員会に引き続き、皆様、お疲れさまでございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は、補正予算案1議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶を願います。

○議長（三浦桂司議員） 今、市長が言われましたように、子育て応援給付金について、十分議論していただきたいと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第68号 令和4年度豊明市一般会計補正予算（第8号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者の説明を求めます。

松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、説明をさせていただきます。

初めに、歳出について説明いたします。

補正予算書の6ページ、7ページを御覧ください。

3款2項1目 児童福祉総務費、3 児童福祉事務事業2億1,861万4,000円は、県の子育て世帯臨時特別給付金事業及び市独自の子育て応援給付金事業を実施するため計上させていただくものです。

説明欄を御覧ください。

上段より、事務費として案内通知用の封筒の印刷製本費と郵送代の通信運搬費、口座への振込手数料となっております。その下、市独自の子育て応援給付金として1億3,800万円、県の子育て世帯臨時特別給付金として7,900万円となっております。

県の給付金は、児童手当受給者に対し、お子さん1人当たり1万円、7,900人分を、市の給付金につきましては、今年度1歳以上になるお子さんから高校生年齢相当のお子さんに対し、お子さん1人当たり、県の給付金と合わせて2万円となるよう、1万750人分積算しております。

続きまして、歳入の説明をさせていただきます。

4ページ、5ページを御覧ください。

15款2項2目 民生費県補助金、5 児童福祉費補助金8,007万7,000円は、先ほど歳出で御説明いたしました県の子育て世帯臨時特別給付金事業に10分の10充当するものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 7ページの、いわゆる県の給付が1万円で、県の給付を受けられる方はプラス1万円というところですが、県の給付金1万円を除いてプラス2万円、一律ということは検討されましたでしょうか。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 2万円の根拠となるかと思うんですけども、今年の2人以上世帯の家計負担が試算で七、八万円ぐらいというのが出ておりまして、それを参

考に、子ども1人当たり2万円程度かなということを想定をさせていただいておりました。

それで、県のほうの給付金におきまして、県でも、物価高騰による食品の家計負担増を、子ども1人当たり半年間で1万円という試算をされておきまして、1年間にすると2万円だということで、もともと市が想定しておりました2万円と、県が年間当たり2万円っていうのを出しておりましたので、合計で2万円というのが妥当だということで、この合計で2万円というふうに算定をさせていただいております。

以上です。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 関連で。

そうすると、県から1万円、口座振込になるのかと思うんですけど、県から1万円、市から1万円って、別々に振り込まれるという解釈でいいですか。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 県の児童手当受給対象者につきましては、市と合わせて2万円というふうに振込を予定しております。それ以外の方につきましては、市独自というところになりますので、市からの支給になります。

以上です。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

一色委員。

○一色美智子委員 賛成の立場で、討論をさせていただきます。

県の子育て世帯臨時特別給付金、県補助分の支給をいち早くお届けするとともに、本市独自の政策として、高校生等を養育している御家庭や児童手当の所得超過の方にも給付金を支給されることは、今まで収入制限ぎりぎりでもいつも対象者からはじかれてしまうと落胆されている世帯にとっては、とても喜ばしく、朗報でもあります。全ての子育て世帯へ分け隔てなく支給されることは、年末を前にして大いに喜ばれることと思います。子育てへの思いやり施策の一環と思います。大いに歓迎して、賛成といたします。

○健康福祉委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（近藤善人議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第68号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(近藤善人議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第68号のうち、本委員会所管部分については全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長(近藤善人議員) ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午前11時28分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

健康福祉委員会

委員長